

東京学芸大学書道科同窓会

硯心会だより 第6号

発行
2020年12月1日

第39回硯心会書展のご報告

硯心会書展部部长 殿村美奈子 (33期)

今年の硯心会書展は、去る令和2年9月24日から27日まで銀座洋協ホールにて無事に開催することが出来ました。

- ① マスクの着用をお願い（マウス・フェイスシールドの確保）
- ② アルコール手指消毒液の設置
- ③ 受付（人数の削減・アクリルパネルの設置）
- ④ 会場内の換気・窓の開放

- ⑤ 展示ブースの簡素化
- ⑥ 休憩スペースの廃止
- ⑦ 椅子の消毒の徹底
- ⑧ 会場内に注意喚起ポスター掲示

当初の開催時期を変更しての硯心会書展の開催となりましたこと、皆様にご心配ご迷惑をお掛けいたしましたこと心よりお詫び申し上げます。

このようなコロナ禍において普段の日常とは異なる状況を余儀なくされる中、会員の皆様にはご出品いただき、また多くの心温まるお言葉や励ましをいただきました。連日会員の皆様、関係者の皆様にご来場ご高覧頂きましたこと心より御礼申し上げます。

今回展は、第2期（昭和29年卒業）から68期（令和2年卒業）までの74名の会員の皆様からのご出品をいただき

ました。今年6月に逝去されました第2期太田淋堂氏からもご出品いただきましたこと厚く御礼申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

会場は、会員の皆様からの多種多様な作風の書作品と書展を力強く支えていただく熱い思いに溢れたものとなりました。

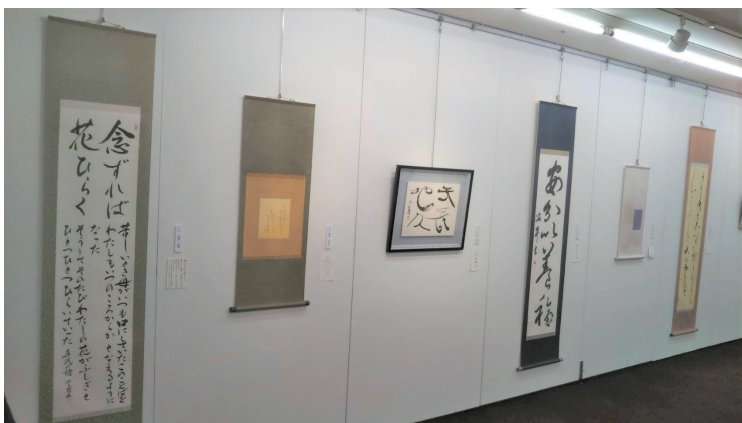
作品数は昨年より減少とはなりましたが、出品者の世代別では50・60期代の出品者が全体の3分の1を占めてきており、今後ますます出品数の増えることを期待いたします。昨年より併催の同期有志展は残念ながら中止とさせていただきます。

最終日の総会には会員の皆様のご出席を賜りましたこと、感謝申し上げます。会期後、会場にお越しいただけなかった出品者の皆様や関係者の皆様に少しでも会場の雰囲気味わっていただきたく、硯心会ホームページにて会場風景、出品作品の動画をアップしております。ご高覧のほどお願い申し上げます。

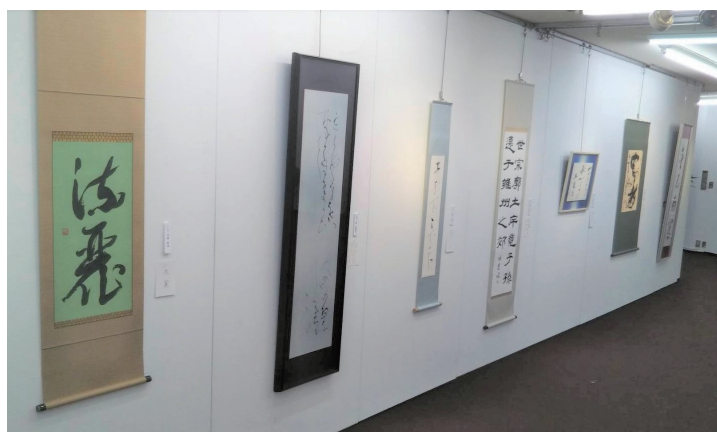
七十年近く続いている同窓会は東京学芸大学書道科卒業生の皆様の母校を愛する気持ちがあればこそ今日に至っていると感じています。そして、このような書展を通して交流の場を共有

できることは今後の硯心会の更なる発展に繋がることと確信しております。来年は硯心会書展第40回の記念展として第45回学芸書道全国展と共に東京都美術館にての開催となります。記念展として特別展示など新たな企画も予定しております。

節目となる40回記念展を多くの会員の皆様と共に盛り上げて開催できますよう役員・部局員一丸となって心新たに進めて参ります。今後ともより一層のご協力をお願い申し上げます。



会場の様子



会場の様子

第39回硯心会オンライン書展

本年度は、新型コロナ流行の影響により、会場に来られなかった方も多くいらっしやることを考え、硯心会ホームページより、会場の様子(動画)、出品作品が見ることができるようになりました。ぜひご覧ください。



硯心会HPから、または上のQRコードから見るができます。

第44回学芸書道全国展報告

学芸書道全国展部部长西澤憂(49期)

例年7月に審査、8月に実施している学芸書道全国展は、東京オリンピック開催にあわせて銀座での開催を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により一斉休校措置が取られ、夏までの教育活動が従来通りに行えないことや感染症拡大防止の観点から、秋に時期を延期し、作品集の発行とweb掲載をもって展覧会とする誌上展として今回は開催いたしました。

コロナ禍により心配された出品作品数については、夏に開催される多くの展覧会が中止となっていたこともあり、大幅な作品数減少とはならず、7718点の作品が今年も全国各地より集まり、10月10日に三鷹市芸術文化センターにおいて硯心会役員をはじめ、会員や出品団体責任者により厳正な審査が行われ各賞が決定、その後11月8日に作品集発行・賞状等送付・表具した作品の返送を行いました。

全国の小学生・中学生・高校生の作品は、コロナ禍においても力強く練度の高い作品が多数出品され、例年以上に児童生徒の力を発揮していました。

一方で、コロナ禍により大学生による作業補助が行えず、密を避けるために限られた部局員で全ての業務を遂行しなければならぬ状況でした。そのような中、細やかな作業を求められる作業まで加藤理事長をはじめ多くの硯心会会員の皆さまに支えて頂きました。この場を借りて深くお礼申し上げます。

次年度からは、会場を東京都美術館に移し、今までより大きな会場に児童生徒の作品を展示し、さらに書写書道教育の発展に貢献できるよう、部局員一同で努力して参りますので、硯心会員の皆さまにおかれましては、出品へのご協力及び審査会への参加を中心に引き続きご理解とご協力をよろしくお願い致します。

第45回学芸書道全国展については、次の通り計画しております。最終決定ではありませんが、お伝えいたします。

- ・要項発送
- ・年度末の理事会で決定した後、4月発送予定(硯心会HPにも掲載予定)
- ・作品締め切り
- ・7月15日(木) 小金井郵便局留
- ・審査(予定)7月19日(月・海の日)
- ・会期 8月14日(土) ~ 21日(土)

◇ 最後になりましたが、今回展より学芸

書道全国展部長を務めさせて頂くことになりました。49期の西澤憂と申しますが、長きに亘り書写書道教育の発展に寄与してきた本展の伝統を更に飛躍させられるよう、精進して参りますので、硯心会会員の皆さまにおかれましてはご指導をよろしくお願い申し上げます。



第44回学芸書道全国展審査報告

◎団体賞受賞団体

最優秀団体賞

桜美林中学校・高等学校

聖徳大学附属女子中学校高等学校

優秀団体賞

開成中学校

浅野中学・高等学校

星野学園中学・高等学校

東京学芸大学附属小金井中学校

湘南学園中学校高等学校

埼玉県立熊谷農業高等学校

埼玉県立所沢高等学校

サレジオ学院中学校高等学校

千葉県立千葉南高等学校

帝京安積高等学校

星野学園小学校

団体賞

桐朋女子中・高等学校

千葉日本大学第一中学校・

千葉日本大学第一高等学校

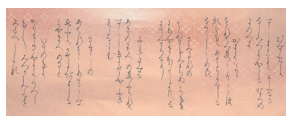
千葉県立千葉女子高等学校
勝田書道塾

埼玉県立ふじみ野高等学校
実践学園中学・高等学校
大成高等学校

浜松開成館高等学校
埼玉県立鴻巣女子高等学校
泉書道教室

駒場東邦中学校高等学校
埼玉県立新座高等学校

◎個人賞最高賞(学長賞) 受賞者
大分高等学校 高3 坂口亜希

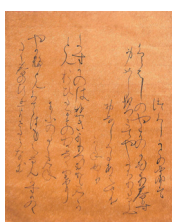


(部分)

浜松学芸高等学校 高3 北嶋葉菜
本素之先幽晴元器昇黙有来麻中惟靈麻
水推無如久焉斯以深津蓋乃道之相根
既連自無生有太未始萌可為色理地不根
故道流之者取潭成先天地生 葉菜 謹誌

埼玉県立大宮光陵高等学校

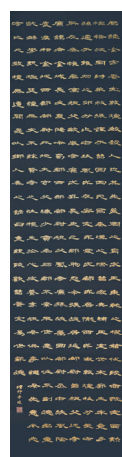
高3 能登柚月



(部分)

佼成学園女子中学高等学校

高2 荒井理紗子



大成高等学校 高2 若林里奈



千葉白本大学第一中学校・
千葉白本大学第一高等学校 高2 能勢涼花

始以武功壹海内終
以文德懷遠人 涼花臨

滝野書道教室 中3 小林真妃奈

挑戦の足跡 三年 小林真妃奈

桐朋女子中・高等学校中3 熊谷香織

不屈の精神 中三 熊谷香織

勝田書道塾 中2 齋藤優香

英知の結集 中二 齋藤優香

蘭月書道教室 小2 林美衣咲

にじいろ 小2 林美衣咲

◎事務局より

来年度は、東京都美術館で、第40回硯心会書展および第45回学芸書道全国展の同時開催となります。

硯心会書展への会員の皆様の作品のご出品を、また学芸書道全国展への児童・生徒の皆さんのご出品をお願いいたします。

また、両展の要項送付希望の方は本部事務局までご連絡ください。



作品集表紙

審査結果											
計	入選	佳作	秀作	特選	硯心会奨励賞	硯心会理事賞	都小書研賞	全書研賞	東京新聞賞	硯心会会長賞	東京都教育委員会賞
7718	2300	2305	1551	1232	183	100	3	17	3	11	3



左のQRコードから、「第44学芸書道全国展審査報告・作品集特設ページ」を見ることが出来ます。

埼玉硯心会の活動報告

埼玉硯心会事務局 杉山惠美 (25期)

八月一日(土)〜四日(火)の日程で開催予定でした第四十三回埼玉硯心会書作展は残念ですが開催を延期せざるを得ませんでした。この展覧会に向けて、例年のように今年も年明け早々、研究会の会場を予約していたのですが、コロナ禍により全て中止となりました。その間、会員からは、展覧会中止の要望、積極的に開催を望む声と様々寄せられました。会場となる埼玉会館にも再三問い合わせをして、来年度に延期ということになりました。来年度の第43回埼玉硯心会書作展の日程は、令和3年8月9日(月)から12日(木)、埼玉会館第三展示室の予定です。

自粛期間は各自が研鑽の時間となったと思います。今年度の会員相互の交流会を持ちたいとの意欲的な声もありますが、なかなか状況は良くならないので実現には至っていません。

最後に、昨年秋の研修会の報告をします。令和元年11月4日、秋晴れの一日、上野界隈を散策し有意義な研修会となりました。コースは書道

博物館・朝倉彫塑館・全生庵など、途中笹乃雪の豆腐懐石で懇親会。17名の参加でした。

来年度はまた活動が再開出来るよう、早く収まって欲しいと願っています。

千葉硯心会書展のご報告

千葉硯心会事務局 石井昭正(31期)

千葉硯心会書展は、原則、千葉県在住・在勤の東京学芸大学書道科出身者を会員とし、現在の会員数は130名ほど。年に一度の展覧会には三分の一程度の会員が毎年出品していますが、転居・高齢化などにより、出品数が減少傾向にあります。若い方に期待したいところです。

新型コロナウイルスの影響を鑑み、令和2年8月3日～10日に開催を予定しておりました「第四十九回千葉硯心会書作展」につきまして、本年度は中止の運びとさせていただきます。

次年度・令和3年度に改めまして「第四十九回千葉硯心会書作展」として開催予定いたします。

会員の皆様には、ご健康に留意していただきながら、来年度の作品展に向けて、錬成・ご研鑽賜りますようお願い申しあげます。

群馬硯心会の活動報告

群馬硯心会書展事務局 永田灌櫻(58期)

群馬にゆかりのある硯心会員相互の研鑽の場として、隔年で群馬硯心会書展を開催しております。令和初となる今回の第14回展は、令和2年1月10日から14日まで、高崎シティギャラリー第2展示室で催されました。

今回展の出品者は、真下京子・小倉釣雲・佐藤一墨子・下谷洋子・計良袖石・杉山勇人・永田灌櫻の7名です。出品者同士で事前に分担している訳ではありませんが、漢字・仮名・漢字仮名交じり・前衛・篆刻・刻字と、毎回ほとんど全ての書道の分野を網羅した展覧会となります。メンバーの少ない展覧会ではありますが、その分ひとり当たりの壁面長も10メートル前後となっており、連立個展のような体裁となります。大作2～3点の出品者と小品多数の出品者があり、それぞれの作家がその個性が存分に発揮すべく工夫していたと思います。来場者も1000人を超え、非常に好評でした。

会期中に行われたギャラリートークでは、作品解説はもちろん、書作



会場の様子

感についても深く語られ、參觀者からの質問が飛び交う活発な意見交換の場となりました。

次回展は令和3年度中の開催予定です。

令和2年度総会報告

去る令和2年9月27日(日)17時から、銀座洋協ホールにて、夏季理事会および総会が開催されました。詳細は各期理事宛に議事録を本部署より送付いたします。ここでは、簡単に報告いたします。

①第39回硯心会書展

新型コロナウイルス流行に伴い、出品者は減少となった。会期中の会計業務を簡略化し、振込のみにした。新型コロナウイルスに対し諸対策をおこない実施した。また、今年は新型コロナウイルス流行により、来場できない方が多かったと思われるので、第39回硯心会オンライン書展を開催する。

②第44回学芸書道全国展

本年度は新型コロナウイルス流行のため、締め切りを遅らせ、誌上展として、審査報告およびホームページでの結果発表とした。なお、審査については、大学の施設が使用できないため、10月10日(土)13時より三鷹芸術文化センターで、できるだけ短時間で終わるように工夫し実施する。審査以外の作業についても、部局内を中心に人数をしばっておこなう予定である。

③三国展

本年度は新型コロナウイルス流行にともない、韓国、中国側より来日が難しいとの申し出があり延期となった。

④その他

・名簿発行について

理事の皆様のご協力により、9月1日付にて名簿が発行できました。名簿が必要な硯心会会員については、個人情報保護の観点から一人一冊のみ、印刷代相当(1000円) + 送料でお渡しする。

質問 送料はいくらか。↓レターパック(370円)である。

ご意見 個展や著書など、だよりを活用して会員に情報周知するようにしてほしい。↓広く情報提供を呼び掛きたい。

⑤2021年度の活動について

来年度は、かねてよりお伝えしてきた通り、2021年8月13日(金)〜21日(土)に、東京都美術館1階第4展示室にて、硯心会書展、学芸書道全国展を同時開催ということでおこなう。硯心会書展が第40回、学芸書道全国展が第45回を迎え、二つの企画を考えている。

一つが、東京学芸大学書道科ができた当時の教員(常勤・非常勤)の

教育状況や作品を展示したり、学芸書道全国展や硯心会書展の歴史をまとめてパネルなどで展示したりし、冊子も作成したいと考えている。この企画について、岩切誠副会長に実行委員長、岡野屋宏一理事に実行副委員長をお願いし、実行委員会を組織しおこなっていききたい。

もう一つが、出品者のみならず広く会員に声をかけ、同窓会をおこないい、広く会員間の交流をはかりたいと考えている。

企画展について、詳細は実行委員会を中心に検討していただき、3月の理事会で詳細を報告したい。まずは、企画をおこなうこと、そのために実行委員会を組織することを承認いただきたい。↓承認される。

⑥第40回硯心会書展

出品料の設定については特にご意見をたわまりたい。案1は東京都立美術館ということを考慮し、大作を出品していただきたいということで値段を設定した。出品締め切り等については、業者と相談の上、変更する(はやまる)可能性がある。搬入費、管理・返送費についても検討中である。(3月理事会にて審議・決定)

案1 全紙未満1万9千円

全紙以上2m以内1万5千円

案2 1万8千円

ご意見 もし案1とするならば、大きい規定作品の出品料が安いことについて、出品票に一文記載をしたほうがいいのではないか。↓そのように対応する。

ご意見 予算案(役員のみ配布)をみると、案1の場合、赤字になっている。その点を踏まえて金額の設定を再度考えてほしい。

⑦第45回学芸書道全国展

主にご意見をいただきたいのは、①サイズおよび値段について、②賞についてである。表彰式については、8月21日を予定しているが、予約受付が半年前であるため、あくまでも予定である。

サイズおよび値段については、全紙サイズを追加しているが、これについてはどうだろうか。

賞については、「第45回記念賞」を追加しているが、これについて、また他の賞などは考えられるだろうか。

ご意見 以前あった半切二分の一サイズを是非復活してほしい。小学生などにとっては、重要なサイズである。↓検討する。

⑧三国展

2021年度は北京で北京師範大学、ソウル教育大学校と交流企画をおこなう予定である。是非ご協力をお願いしたい。

質問 サイズはどういったサイズなのか。↓主催国が決めることになっているが、基本的に半切以内の軸となるだろうと考えている。

質問 硯心会会員のみが出品できるのか。↓広い意味で書教育に関わっているひとが参加できる。(生涯学習、学校教育を含め)ぜひお知り合いでご出品希望の方がいたらお誘いいただきたい。



「令和2年度硯心会名簿」の改訂・発行について

この度、硯心会本部では、各期理事のご協力を得て、硯心会名簿を発行しました。硯心会会員に限り頒布いたします。以下の注意点をお守りいただき、お申し込みください。

ご購入に当たっての注意

・本名簿は、硯心会規約「第4条 本会は会員相互の親睦をはかり書道・書写の研究と発展に貢献することを目的とする」ために発行いたします。
・名簿の購入は東京学芸大学書道科同

窓会硯心会の会員1名につき1冊のみとします。

・他人への譲渡はお控えください。

ご購入の手順

・郵便局備え付けの郵便振替用紙にて、以下郵便振替口座まで1370円（名簿代1000円＋送料370円）をお振り込みください。振り込み後、事務局・草津まで手紙またはメールにて「ご住所、お名前、期」をメールまたは手紙にてご連絡ください。振替用紙は郵便局備え付けの振替用紙をご使用ください。郵便局のシステム仕様変更により、振込後、会計に通知が届かなくなりました。必ず振込後の連絡をお願いします。

・振り込み先

00210-1103417

東京学芸大学書道科同窓会（硯心会）

・名簿申し込み先

硯心会本部事務局 草津祐介

☎124-0011 東京都葛飾区

四つ木4-4-12-405号

電話 090-26159-4822

メール usk932@hotmail.co.jp

※メールにてご連絡の場合、返信がない場合、確認できていない可能性があります。別の方法によってご連絡ください。

会員展覧会のご案内

◎開催報告

すでに開催されました硯心会会員による個展・同期展の情報を紹介いたします。

51期小谷寛幸氏の個展開催報告

小谷寛幸書展「言葉との対峙」

2020年8月18日（火）～23日（日）
福井県立美術館第1展示室

この数年、仕事上の幸運にも恵まれ、文字文化の偉大さに震える日々を送っています。福井県出身の白川静博士に関する事業にも携わり、甲骨文、金文を始めとする古代の人々の営みの中から生まれた漢字の起源の世界に触れることができました。また、石川九楊氏との仕事の中で、文字が一点一画の積み重ねで構成され、それが文学をつくることの過程を改めて考えさせられました。

そんな様々な感動から、「言葉との対峙」と銘打って私なりに言葉や文字をどう解釈するのかという視点から表現したのが今回の個展になります。

◎事務局より

小谷寛幸書展「言葉との対峙」オン

ライン書展のご案内

下のQRコードを読み取っていただくと、展覧会の様子、作品を動画で見ることができます。



会場の様子

◎開催案内

これから開催予定の硯心会会員による個展・同期展の情報を紹介いたします。

28期高橋敏行氏の個展開催案内

高橋敏行書作展

2021年3月22日（月）～28日（日）
10時～19時

（初日13時より、最終日18時まで）

船橋市民ギャラリー第四展示室

（船橋市本町2-1-1スクエアビル3階）※最寄り駅JR船橋駅または京成船橋駅です。

❖ 展覧会（個展・同期展）の開催予告、開催報告、出版等を次号に掲載希望の方は事務局までご連絡ください。

計報

太田 保市（号・彬堂） 2期

江口 啓爾（号・大象） 6期

謹んでお悔やみ申し上げます。

発行

◎硯心会本部 ☎184-8501

東京都小金井市貫井北町4-1-1

編集

◎硯心会事務局 ☎124-0011

葛飾区四つ木4-4-12 草津祐介

メール usk932@hotmail.co.jp

硯心会HP

<http://kenshinkai.grupo.jp>

